

ちよだ 区議会 だより



No. 238

平成30年8月13日
編集: 区議会だより編集委員会
発行: 千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1
☎ 03-5211-4297(直通)
ファクシミリ 03-3288-5920

第2回 定例区議会



東京ミッドタウン日比谷からの皇居前広場

トップニュース

Top News

「放課後等デイサービス」事業運営の適正化を求める意見書を可決

■国に対し当該事業運営の適正化を図るよう方策を講じることを強く求める意見書を、全会一致で可決しました。
(詳細はP8をご覧ください)

性的マイノリティへの理解とすべての区民が自分らしく生きられる社会を目指す施策の展開を求める決議を可決

■区に対し積極的に施策を推進するよう要望する決議を、全会一致で可決しました。(詳細はP8をご覧ください)

災害対策用備蓄物資(食料・携帯トイレ等)の購入を可決

■災害対策用備蓄物資(食料・携帯トイレ等)の購入契約を締結するため、「千代田区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条の規定(予定価格2,000万円以上の動産の買入れ)により、議会の議決に付され、全会一致で可決しました。

主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告 6～7面
- 本会議で可決した意見書等 8～9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・条例 7件
- ・契約 4件
- ・報告 3件

◆委員会提出議案

- ・意見書 1件
- ・決議 1件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。
また、CD版、点字版も作成しています。区内在住ご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297(直通)までご連絡ください。



区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますのでぜひご利用ください。

平成30年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

自由民主党議員団



永田 壮一

オリンピック・パラリンピックの推進

問 ①推進に向け担当部署の権限強化を②機運醸成のため各団体との連携・協力等は③熱中症対策等の沿道整備は④区のボランティア受付は⑤前回大会の教訓を踏まえた区の新しい教育理念は⑥スポーツに親しむ機会増加を。

答 ①副区長を本部長とし全庁的体制で推進中②地域やスポーツ団体との連携が重要。事業費補助や啓発グッズ配布を行う③仮設トイレや涼みスポットを整備④区案内は区推薦者が行えるよう都等と協議⑤共生社会・国際教育等の5視点⑥出場選手を講師に迎える等。

民泊対策について

問 ①新法施行時点で受理2件。今後の見通し・あり方は②民泊指導課の体制・権限、届出者へのサポートは③優良な民泊への表彰等は。

答 ①6月25日現在、受理7件・相談数件。制度開始直後のため、安全安心を最優先し状況を見ながら検討する②警察OB等10人体制で、指導や苦情相談を実施③今後検討する。

障害者福祉施策について

問 ①他の障害に比べ遅れている精神障害者への支援は②施設整備の方針は。

答 ①施設を開設・運営する事業者の誘致や、障害特性に応じた専門的相談を実施②具体的検討を行う。



自由民主党 新しい千代田



たかざわ 秀行

受動喫煙防止と喫煙所設置

問 ①区は17の公園を禁煙公園とした。この影響と喫煙所への誘導等の対応は②都の受動喫煙防止条例により、約8割の飲食店が禁煙の規制を受け、路上喫煙が増える懸念がある。喫煙者との共生のために区の生活環境条例を見直し、喫煙所の整備を進めるべき。

答 ①喫煙所の誘導等は当初1日1,000件、現在は10件と激減②条例は「まちをきれいにすること」が目的で、主として受動喫煙防止を図るものではない。区民の生活環境を守るために運用の改善を進める。喫煙所整備に関しては喫煙トレーラーの設置や喫煙所設置助成制度の要件緩和等、地域ごとに整備状況を勘案し有効な対策を検討する。

子ども総合サポートセンターとは

問 児童虐待の対応に児童相談所の役割は重要。区の児童相談所設置と仮称「子ども総合サポートセンター」の構想と設置に向けての進捗状況を問う。

答 区が虐待に対応できる相談所を持つべきと認識。子ども支援と保健福祉支援は一緒にすべきで、子育てに切れ目のない支援をする、子育て世帯包括支援センターと児童相談所機能を合わせた仮称「子ども総合サポートセンター」を構想している。29年度からは児童相談行政の専門人材の確保と育成に取り組み、各組織の課題を整理している。専門家にも内容の検討を依頼する予定。



日本共産党区議団



木村 正明

住民参加強める2つの条例を

問 ①公文書は「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」。適切に管理・保存するため、公文書管理条例制定を②協議会に民意をより反映させるため、公募委員等の仕組みを定める住民参加条例制定を。

答 ①情報公開等の関連制度は他自治体より進んでいるが、文書管理を再点検する②区的意思決定の場合は議会。まず住民参加との役割整理を。

区民のために積立金の活用を

問 ①区の基金残高は突出している。人件費削減と区民負担増・区民施設の廃止が要因では②基金は、国による今後の医療・介護の負担増等から暮らしを守るため活用すべき。

答 ①区税は歳入全体の3割。区は他自治体より脆弱な財政構造。財源を地方へ移す国の動向もあり、適正な基金額と認識②子育て支援等にも活用。

日テレ通り沿道のまちづくり

問 高さ制限を緩和するルールづくりに不安を持つ区民は少なくない。まちがどう変わるか、日テレの開発構想を開示するよう申し入れるべき。

答 協議会が基本構想をまとめ、同社が当該構想を検討後に開発構想の情報が提供されると認識。



23区の積立金状況

平成30年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

千代田を紡ぐ会・立憲



岩佐 りょう子

公文書管理と情報の公開について

問 ①職員が作成したメモ等も公文書扱いすべき②情報公開請求時には全庁的に情報の有無を確認すべき。

答 ①個人的に作成したものの等は公文書の取り扱いをしていないが、組織的に管理していれば取り扱う②適宜適切に確認していると認識。

児童虐待ゼロを目指す取り組み

問 ①ショートステイ事業の進捗と今後の展望は②ITを活用した効率化と収集した情報をデータベース化し共有を図るべき。

答 ①今後は児童相談所設置も見据えた自区完結型の事業の運営を検討②今年度より保健所と児童・家庭支援センター間でシステムによる情報共有が可能となった。更に業務の効率化を図り、より一層子ども支援に取り組む。

市民緑地認定制度について

問 NPO法人や企業等が民間の空地を公園的な空間に整備・公開し、自治体が「市民緑地」として認定する制度がある。再開発により整備される公開空地等が多い本区では環境の向上が期待できる。見解は。

答 この制度は、良質な緑の整備・管理・活用の効果的な推進が可能であり、積極的に取り組む必要があると認識。



公明党議員団



大串 ひろやす

加齢に伴う虚弱化の予防を！

問 加齢に伴う変化にパターンがあることが明らかとなった(下図)。今後の健康づくり・介護予防で重視すべきターゲットとその時期が明確となり健康寿命の延伸が期待される。特に75歳から始まる虚弱化(フレイル)予防が重要となる。そこで、区として高齢に伴う虚弱化予防にどう取り組むのか。

答 超高齢社会を迎えフレイル予防は重要。従来の介護予防事業をその観点から再編整理していく。同時にフレイル予防について、普及・啓発をはじめ、区民が自主的に体力の維持向上、栄養摂取、社会参加等の介護予防を継続できる仕組みづくりを進めていく。

対話型美術鑑賞の実施を！

問 対話型美術鑑賞とは、作品を見て感じたこと等をみんなで言葉にして鑑賞するものである。子どもたちはこの「見る」「考える」「話す」「聞く」の循環の中で思考力、判断力、表現力が育まれる。また、鑑賞には正解はなく全ての子どもの「話し」が認められ自信にもつながっている。そこで、区と教育委員会そして美術館が連携しての対話型美術鑑賞の実施を提案する。

答 教育委員会では、区とも協力しながら各校がそれぞれの実態に合わせ、「対話型美術鑑賞」も含めた文化芸術に対する取り組みを更に進めていく。



平成30年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

内田 直之 (自民)



急増する「限界マンション」

問 「限界マンション」とは建物の老朽化と居住者の高齢化等で管理不全となり、スラム化していくもの。区の実態と危惧する点は。

答 現時点では具体的に把握していない。本区マンションの現状を踏まえると「限界マンション」予備軍の増加を懸念している。

起業したい街への環境創り

問 秋葉原や神保町を日本で最も起業したい街にすべく、環境整備の検討を提案する。

答 環境創りが重要と認識。関係機関と連携し、更に起業したい街に向けた環境整備に取り組んでいく。

大坂 隆洋 (自民)



教育・保育施設の整備課題

問 ①0歳児の保育需要への対策は②希望する区立幼稚園に入園できない現状への対策は③学童クラブの運営は高・低学年に分けた対策が必要。

答 ①本年9月に二番町に保育園を開設する。居宅訪問型保育事業も現在満員のため定員増加を協議中②園新設は用地条件の問題等から厳しい。しかし幼稚園需要と保育園需要に応える保育所型こども園を開設。今後もこども園の整備を検討し定員の拡充に取り組む③学校教育と連携強化を図り高・低学年の行動パターンを踏まえた運営を検討、実施する。

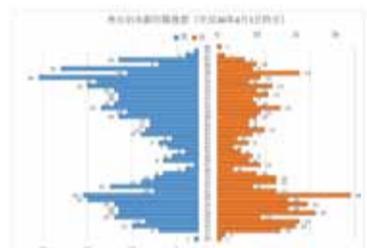
小林 たかや (自民)



職員定数と人材育成

問 ①職員定数見直しのスケジュールは②区民サービス向上のための人材育成は③職員年齢構成不均衡の改善が必要④団塊世代の大量退職に伴うノウハウを継承する世代が少ない。対策は。

答 ①本年度中に区全体の業務量に応じた定数を算出②職場OJT、各種研修等で育成③民間経験者を採用し改善を図る④65歳までフルタイム再任用の選択を可能にし退職者の活用を図った。



男女ともアンバランスな職員構成

山田 丈夫 (自民)



高齢者施策について

問 ①シルバー人材センター会員の確保支援を②高齢者の健康づくりの取り組み状況は③施設整備で入所者が増えると介護保険料が上昇する懸念がある。影響は。

答 ①会員数は、360人前後で推移。会員確保の取り組みを支援する②体力の維持向上、栄養摂取、社会参加を組み合わせたフレイル予防に重点を置き取り組む③もともと在宅サービス利用者の多い本区では保険料への影響は限定的。介護予防の推進と福祉サービスの充実で、保険料の上昇幅を小さくできるよう努力する。

米田 かずや (公明)



通学路の緊急総点検を！

問 区は国や都、関係所管と連携し緊急に通学路におけるブロック塀や看板等の安全点検を行うべき。

答 緊急点検は既に実施済。危険箇所は早急に改修する。引き続き安全点検に努め危険箇所を発見次第、関係所管と連携し対応する。

公園の禁煙化対策について

問 4月から17の公園が禁煙化されたが成果と課題、今後の区の取り組みは。

答 指導を行った結果2カ月で喫煙件数が100分の1に減少した例もある。今後は喫煙所の適正配置、未実施の公園の禁煙化も視野に入れ効果的な方策を検討。

小林 やすお (自民)



秋葉原周辺のねずみ対策

問 歩道植栽帯に生息するねずみの問題解決には、餌となる飲食店内の食品の収納や生ごみの排出等の管理が重要。区は保健衛生の観点から責任をもった指導を。

答 飲食店等には、ふた付き容器を用意し、適正な廃棄物処理の義務があり、保健所はこれに基づき監視指導していく。また、深夜のごみ出しも課題。ルール徹底のため清掃事務所と連携し指導強化を行っていく。



池田 ともり (自民)



障害者支援の充実を求めて

問 ①今後、学童クラブでの児童発達支援や放課後等デイサービスは、更に需要が高まると想定される。施設整備の強化を図るべき②18歳を境に障害児支援から障害者支援へ制度が切り替わる。区は情報共有等、連携強化が必要。見解は。

答 ①特別支援学校や特別支援学級に通うほとんどの生徒が登録しており需要は増加傾向。良質な民間事業の誘致も含め、強化を検討②子ども部と保健福祉部の連携はもとより児童発達支援事業所や、放課後等デイサービスの民間事業所との連携を強化。情報の把握と共有に努める。

牛尾 耕二郎 (共産)



震災から児童を守るために

問 ①学校施設等の安全点検と危険箇所への緊急対応を②通学路沿いの建物の外壁・看板の安全点検と修繕費用等の相談体制が必要。

答 ①緊急点検を実施。危険箇所は早急に対応する②落下等危険物件の管理者には安全確保の要請を計画中。商工融資あっせん制度の活用を含め支援策を講じる。

住み続ける権利の保障を

問 借上型区民住宅の復活、区営住宅の創設等、公共住宅の増設を図るべき。

答 本区の公共住宅整備状況は23区でも極めて高く、公共住宅の増設計画は現時点ではない。

平成30年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

飯島 和子 (共産)



いじめ解決と道徳の教科化

問 ①過度に競争主義的な日本の教育制度がいじめ等へつながると国連は勧告。区の認識は②道徳教科化がいじめ対策に有効と考えるか。

答 ①背景は学校・家庭・社会全体の影響とさまざま。原因をしっかりと確認し対応する②教科化は生命や人権の体系的教育として有効。

図書館の利活用について

問 ①希望が多い本は複数購入すべき②出張所に返却ポストを③学校図書館司書の雇用か、派遣の拡充を。

答 ①原則1館1冊だが他館と連携②集配業務大幅増の課題等を検証する③雇用は行わず派遣も現状で十分。

林 則行 (千代田)



図書館HP改ざん事故対応

問 ①事故の責任は指定管理者だけか②事故を教訓としたガイドラインの作成は。

答 ①区に管理責任がある。新システムでは開発、保守管理を区が実施②システムセキュリティ対策強化のための仕組みを整理し、指定管理者ガイドラインに盛り込む方向で検討中。

まちかど図書館の増設

問 区の計画ではまちかど図書館の整備を6カ所としているが現在は2カ所のみ。区の認識は。

答 さまざまな議論を経た到達点。引き続き十分に区民の意見を踏まえて建設、設置を検討する。

桜井 ただし (自民)



改正民法成立について

問 成人年齢が18歳に引き下げられた影響と対応は。

答 契約できる年齢の引き下げの影響が大。若年者への消費者教育の強化と新たな成人年齢定着に取り組む。

区の街路樹について

問 街路樹は根上がり等安全上の問題もあり、伐採も必要。植栽の計画状況は。

答 道路等の安全・安心な整備のあり方を示す方針の素案を作成。その中で街路樹の維持管理の考えを示す。



秋谷 こうき (至誠会)



道路の点検とメンテナンス

問 道路修復に関する区民からの要望への対応は。

答 千代田区では「みちとみどりの相談室」を設置し、国道都道も含めた異常等の連絡窓口として対応している。広報・ホームページ等で更に周知する。

コンビニでの証明書交付

問 ①マイナンバーを使用したコンビニ交付の進捗は②交付が24時間対応でない理由は③戸籍証明交付時間が他証明と差がある理由は。

答 ①2019年2月運用開始予定②システム保守時間確保のため③閉庁時の戸籍届出情報を翌開庁日に反映させる必要があり時間を要する。

小枝 すみ子 (声)



番町地域のまちづくり

問 ①地区計画で本エリアの高さ制限を60mから大幅に高くする案が示された。合意形成は適正に行われたか②既存計画とは180度の方針変更。根拠は。

答 ①地域の検討組織が作成した方針案を受けとめ、多様な主体で構成するまちづくり協議会を区が設置した。協議会の適正運営のもと基本構想を策定する②変更は地域の一部、大方の住居地域は現行計画を踏まえ検討。



番町まちづくりの将来像

はやお 恭一 (千代田)



九段中等の現状と課題は

問 区立小学校から区立中学校への進学率目標(第三次長期計画で2011年度60%)は現状未達成。公立学校の復権に対する評価は。

答 進学率は九段中等を含め2017年度52.8%。ただし、2002年度対比では向上しており、一定の成果はある。

特色ある教育の実現に向け

問 高校教育を預かる責任として2020年の高大接続改革に向けた取り組み強化を。例えば特区制度の活用等、公設民営による学校経営への民間のノウハウ導入は。

答 公設民営のメリットはあるが、学校運営の工夫等で他角度から検討を行う。

寺沢 文子 (紡憲)



千代田区の災害対策

問 ①女性視点での防災対策を②超大型台風、高潮等の危機管理対策を問う。

答 ①避難所運営に女性参加の体制を整え、女性に配慮した備蓄物資整備を実施②洪水予報、避難情報等を防災無線、メール等のあらゆる手段で迅速に伝達する。

外神田一丁目区民施設整備

問 清掃事務所、万世会館の改修と利便性向上は喫緊の課題。子ども、高齢者、障がい者の施設も含め、早急に整備を進めるべき。

答 まちづくりを一步進めていく時期。施設の検討についても、具現化に向け全庁を挙げ取り組む。

岩田 かずひと (立憲)



スフィア基準と避難所改善

問 当該基準は、赤十字等が定めた被災者に対する人道支援の最低基準。基準達成のための避難所整備に、被災時以外にも使えるウレタン製のジョイントマット導入を。

答 区設置の避難所は、都指針の施設基準に基づき整備している。運動用マットの災害時活用は課題を含めて研究する。

花粉症対策について

問 区は、花粉症を病気と捉えて対策を講じるべき。

答 適切な自己管理への助言や、アレルギー相談を実施している。今後、医療団体や都と連携協力していく。

平成30年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案11件(条例7件、契約4件)を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例」は、公職選挙法の一部改正に伴い、千代田区議会議員選挙の選挙運動のために使用するビラの作成について、新たに公費負担の対象として規定するものです。2019年3月1日から施行し、同日以後にその期日を告示される千代田区議会議員選挙について適用します。

〈審査経過〉

質疑の中で、ビラの配布方法については、法の規定により、新聞折り込み、候補者の選挙事務所内、個人演説会会場、街頭演説での配布のみ可能であること、立候補の届け出の際に選挙管理委員会から渡された証紙を貼った4,000枚以内のビラのみ配布することができ、これ以外のビラ配布は違法となること等が明らかになりました。

「千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」は、個人番号を利用する事務として、千代田区次世代育成手当の支給に関する事務を追加するものです。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、次世代育成手当の申請手続きの際、区外に住所を有する児童がいる場合でも、申請者から個人番号の提供があれば住民票の提出が不要になること、個人番号の利用を伴う事務にあたっては、個人情報漏えいのリスクを十分に踏まえて対応していきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

マイナンバー制度に対する国民や区民の不信感は、マイナンバーカードの交付枚数の少なさに表れている。マイナンバーの利用対象者を拡大すれば、利便性とともに関心情報漏えいのリスクも高まるので、反対する。(木村)

【賛成の意見】

区民の利便性を高めるために次世代育成手当の支給に関する事務に個人番号を利用するものであり、利便性とリスクのバランスを考慮したとしても、今後の利活用の期待を含めて推進すべきと考え、賛成する。(永田)

地域保健福祉委員会

議案3件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区特別区税条例等の一部を改正する条例」は、地方税法の一部改正に伴い①特別区民税②軽自動車税③特別区たばこ税の規定を整備するものです。

①障害者等に対する非課税措置及び均等割及び所得割の非課税基準を改めるものです。2021年1月1日から施行します②環境性能割を創設するとともに従前の軽自動車税を種別割に改めるものです。2019年10月1日から施行します③製造たばこの区分に加熱式たばこの区分を創設し、紙巻きたばこの本数への換算方法を5段階で改めるほか、たばこ税の税率を3段階で改めるものです。本年10月1日から施行したのち、それぞれの段階ごとに施行期日を定めます。

〈審査経過〉

軽自動車税について、消費税が10%となる際、自動車取得時の税負担軽減のため、環境性能に応じた税率を設定していること、特別区たばこ税について、課税方式の適正化、税率格差の是正という観点から紙巻きたばこに比して加熱式たばこも値上がりすること、引き上げに伴う税収入の影響額は微減と考えていること等が明らかになりました。

「アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例」は、地方税法の一部改正により、従前の軽自動車税が種別割に改められることに伴い、規定を整備するものです。2019年10月1日から施行します。

〈審査経過〉

千代田区では該当がないこと、アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する種別割の税率は、日米地位協定の実施に関する協議機関である日米合同委員会において合意されたものであること等が明らかになりました。

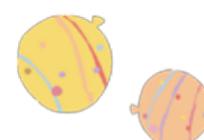
〈討論〉

【反対の意見】

本条例は、日米地位協定によって米軍に対して税金を軽減している内容であるが、不公平であり、反対する。(飯島)

【賛成の意見】

本条例は、日米地位協定により制定された税率に関するものであり、日本にとって外交上必要なものという理解のもと、賛成する。(大坂)



平成30年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例」は、区立九段小学校が改築され、本年9月から供用開始されることに伴い、同校の目的外使用にかかる使用料の設定及び見直しをするものです。本年9月1日から施行します。

〈審査経過〉

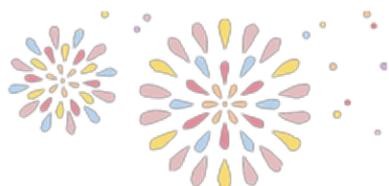
質疑の中で、改築後の同校の施設使用料は上がることになるが、前例として、改築前の富士見小学校は、旧九段小学校と同じ使用料であり、改築後に使用料が上がったこと。ランチルームは、旧九段小学校にもあったが、目的外使用の対象となっていなかったため、新たに条例で使用料を設定したこと。現在、同校を使用している団体は、区民自主サークルがほとんどで、使用料が免除されていること。改築後も免除規定を適用すること。在勤・在学者の団体が利用する場合は有料になること等が明らかになりました。

次に報告案件7件のうち主な内容は以下のとおりです。

「学校施設等におけるブロック塀等の緊急点検について」は、大阪府北部で6月18日発生した地震により、プールブロック塀が倒壊し、女子児童が犠牲となった事故を受けて実施した区立小中学校、保育園、児童館等施設のブロック塀等の緊急点検について報告がありました。その中で学校施設について、基準不適合のブロック塀が2カ所、傾斜、劣化があるブロック塀等が1カ所、傾斜、劣化があるその他の塀が1カ所あり、撤去工事・立入禁止・仮囲い設置等の安全対策を講じていくこと、学校施設や通学路等の安全確保に向け、さまざまな角度から工夫していくこと等が明らかになりました。

「千代田区基礎体力向上プランについて」は、平成28年度から本プランに基づく取り組みを行っているが、現在、運動能力は都内でも上位にあること、学校ごとの課題をさらに細分化して分析し、児童・生徒が個に応じた運動を選択できるようにすることの重要性等が明らかになりました。

その他「オリンピック・パラリンピックに向けた取組みについて」「東郷元帥記念公園の一時閉鎖に伴う子ども部の対応について」「九段南一丁目借受地の活用について」「学校給食における標準献立の実施状況について」「運動部活動ガイドラインについて」の報告がありました。



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

推進プロジェクトは機運醸成事業を重要課題として取り組み、2年前イベントではカウントダウンモニターの設置と区内開催4競技のオリンピックを呼び実施すること、その他マラソン・競歩コース、ボランティア募集、公認マークの使用等について説明がありました。その中で、特にパラリンピック・パラスポーツの事業推進、強化を区に対し要望しました。また、会場周辺の整備では、九段坂公園のバリアフリー化、眺望確保のための設計案と代官町通り工事の進捗状況の報告を受けました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

他区における常任委員会の開催日数や区長、副区長、教育長の出席状況等の調査報告があり、本区の常任委員会等でも今後、円滑な議会運営を視点に引き続き検討していくことにしました。また、今定例会より試行した本会議のインターネットライブ中継時の文字配信サービスの検証を行い、大きな問題点もないことから次回定例会より本格実施することを確認しました。

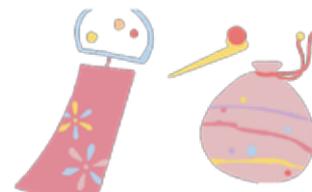
福祉施設整備特別委員会

軽井沢少年自然の家に係る学校からの意見等について報告があり、教育活動に限らず、全庁的な視点で利活用を検討していくことが明らかになりました。また、郊外区有施設の利活用に向けた検討会については委員の選任及び開催状況について報告があり、旧箱根千代田荘を優先的に検討していることが明らかになりました。

その他「障害者よろず総合相談業務」公募型プロポーザルによる選定結果の公表について等の報告がありました。

都市基盤整備特別委員会

区営四番町アパートの建て替えに関する陳情については、審査を継続することとしました。次に、(仮称)四番町公共施設整備については、現在進めている基本設計を本年8月末までに終え、その後実施設計に入りたいとの報告が区からありました。さらに、現時点で2020年10月の竣工を目指している(仮称)外神田一丁目公共施設整備についての内容報告がありました。





今定例区議会で可決した意見書

「放課後等デイサービス」事業運営の適正化を求める意見書

児童福祉法に基づく「放課後等デイサービス」事業については、主に6歳～18歳の特別支援学校等に通学する児童・生徒が対象となるもので、障害児らの生活能力の向上のため、学校の授業終了後の放課後や夏休みなどの長期休暇中に活動の場を提供するものであり、国などが利用料を負担する制度です。

平成24年の制度開始以来、参入する事業者が各地で急増し、昨年初めて1万か所を超え、発達障害児を中心に利用者も17万人に達しています。

しかしながら、利用料は9割が公費負担で、安定的に利用者が見込める制度であり、職員に障害者や児童の支援経験は必要ないため、新聞報道によると、福祉とは無縁の営利事業者が多数参入しているといった運営基準の甘さから、ずさんな運営などで行政処分を受ける例が相次いでいます。こうした状況を受け、厚生労働省は、平成29年4月から職員配置の要件を厳格化し、管理責任者には、障害者か児童の支援経験が3年以上必要とし、児童らに接する指導員にも資格や経験が要件に加えられました。昨年4月から新規の事業者には義務づけられ、それ以前に指定を受けた事業者には今年4月から適用されています。

また、今年3月に当該事業者への報酬減額改定が行われ、一定数の事業者が廃止に追い込まれ、残った事業者の経営をも圧迫すると懸念されます。

よって、障害児及び保護者にとって「放課後等デイサービス」はなくてはならない障害児の居場所である実情に鑑み、このような現状を踏まえ、国に対し更なる当該事業に関する運営基準の見直し後の適正な事業運営とともに報酬改定の影響を早急に検証し、必要に応じ適正な措置を行うことを含め、当該事業運営の適正化を図るよう方策を講じることを強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣



今定例区議会で可決した決議

性的マイノリティへの理解とすべての区民が自分らしく生きられる社会を目指す施策の展開を求める決議

千代田区では男女平等推進行動計画において基本理念を「性別による不平等がなく、誰もが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会の実現」と定め施策を推進している。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオリンピック憲章には人権及びダイバーシティの尊重が明記されており、開催都市にはそれに相応しい取り組みが求められている。これは開催都市として当区の男女平等推進行動計画の基本理念をさらに実現していく絶好の機会と捉えるべきと考える。

よって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、今まで以上に性的マイノリティに対する理解を深めると共に、すべての区民が差別のない自分らしく生きられる社会を目指し、積極的に施策を推進するよう要望する。

以上、決議する。



■ 孺恋村議会議員との交流会

7月18日、千代田区において孺恋村議会議員と千代田区議会議員との交流会を開催しました。意見交換会では、森づくり事業や自然体験交流事業等の既存事業のあり方をはじめ、障害者福祉施策、災害時の対応等を含めた今後の交流事業について、熱心な意見が交わされました。



委員会で取り扱った陳情（平成30年4月6日～平成30年7月24日） ※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳情名（受付順に掲載）	送付委員会 （ ）は参考送付	審査状況 （平成30年7月24日現在）
明大通り・街路樹の保存に関し拡大協議会開催を求め、加えて道路整備方針に関する陳情	企画総務委員会	継続審査
現下検討中の道路公園整備方針に関する陳情	（企画総務委員会）	継続審査
東郷元帥公園改修工事について	企画総務委員会	継続審査
千代田区議会に対する陳情書	企画総務委員会	継続審査
駐車禁止に関する陳情書	（地域保健福祉委員会）	審査終了
東郷元帥記念公園改修工事について	企画総務委員会	継続審査
認可外保育施設保育料の助成制度創設を求める陳情	子育て文教委員会	継続審査
同性パートナーシップの公的承認についての陳情	地域保健福祉委員会	継続審査
超高層開発から番町の住環境・教育環境を守ることを求める陳情	企画総務委員会	継続審査

平成30年第2回定例区議会 会期日程〈会期6月20日～7月6日までの17日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
6/20	議会運営委員会	7/2	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		議会のあり方に関する調査特別委員会
21	議会運営委員会		3
	議会運営委員会	議会運営委員会	
27	本会議（代表質問・一般質問）	4	都市基盤整備特別委員会
	議会運営委員会		企画総務委員会
28	本会議（一般質問・議案の付託等）	5	地域保健福祉委員会
	企画総務委員会		子育て文教委員会
29	地域保健福祉委員会	6	議会運営委員会
	子育て文教委員会		議会運営委員会
	本会議（議案の議決等）		本会議（議案の議決等）

4月～6月の主な活動

月/日	日程	月/日	日程
4/11	区民集会運営協議会	5/25	地域保健福祉委員会
16	政務活動費交付額等審査会		子育て文教委員会
24	都市基盤整備特別委員会	6/1	福祉施設整備特別委員会
25	議会運営委員会	4	子育て文教委員会
	企画総務委員会	5	企画総務委員会
	地域保健福祉委員会	12	地域保健福祉委員会
	子育て文教委員会	13	〈平成30年第2回千代田区議会定例会告示日〉
議会運営委員会	議会運営委員会		
5/25	企画総務委員会	19	議会運営委員会



大手町仲通りにて 主催：和ルミネーション実行委員会

■ 会派名の変更

会派名の変更がありましたので、お知らせいたします。
 「千代田を紡ぐ会・民進」 → 「千代田を紡ぐ会・立憲」
 （4月24日付）
 「民進・クリーン千代田」 → 「立憲民主党 新生ちよだ」
 （5月25日付）

議案の審議結果等 (平成30年第2回定例区議会)

可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択

○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥

議案名等	議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
							岩田かずと	秋谷こうき	岩佐りょう子	寺沢文子	大串ひろやす	米田かずや	大坂隆洋	池田とものり	山田丈夫	飯島和子	牛尾耕二郎	木村正明	小枝すみ子	松本佳子	小林たかや	永田壮一	内田直之	嶋崎秀彦	たかざわ秀行	はやお恭一	林則行	河合良郎	戸張孝次郎	小林やすお	桜井ただし	
委員会提出議案	性的マイノリティへの理解とすべての区民が自分らしく生きられる社会を目指す施策の展開を求める決議	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	「放課後等デイサービス」事業運営の適正化を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
区議会提出議案	千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6		
	千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	25	24	18	6	可	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6		
	千代田区特別区税条例等の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例	25	24	20	4	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	千代田区指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスに関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	千代田区営住宅条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	千代田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	小学校給食用食器の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	災害対策用備蓄物資（食料）の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
	災害対策用備蓄物資（携帯トイレ等）の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6	
特別区道千第254号（二七通り東）電線共同溝整備工事委託協定の締結について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/6		
報告	平成29年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																										6/28					
	自転車通行環境整備工事「神田警察通り」請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										6/28					
	歩道拡幅工事「明大通りⅠ期」請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										6/28					

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

※ 会派名 自由民主党議員団(自民)／自由民主党 新しい千代田(千代田)／日本共産党区議団(共産)／千代田を紡ぐ会・立憲(紡憲)／公明党議員団(公明)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立憲)／千代田至誠会(至誠会)

区議会だより編集委員会の構成

- 委員長 小林 やすお(自民)
- 副委員長 河合 良郎(千代田)
- 委員 秋谷 こうき(至誠会)
- 岩佐 りょう子(紡憲)
- 米田 かずや(公明)
- 大坂 隆洋(自民)
- 池田 とものり(自民)
- 牛尾 耕二郎(共産)
- 小枝 すみ子(声)



ちよだ区議会だよりをスマホで！

○マチイロで配信を始めます！

今回の区議会だより238号から、各自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信します。スマートフォン等で、いつでも手軽に読むことができますので、ぜひご活用ください。



マチを好きになるアプリ



○マチイロの利用方法

- ・上の2次元バーコードからアクセスできます。
- ・「ちよだ区議会だより」の画像をタップし、ダウンロードすると読むことができます。

○アプリと広告表示について

- ・アプリは株式会社ホープが運営しています。アプリの画面には広告が表示されますが、その内容については一切責任を負いません。
- ・アプリの不具合や機能に関しては、アプリを運営する株式会社ホープ（☎092-716-1404）にお問い合わせください。



大手町仲通りにて 主催：和ルミネーション実行委員会